

2023（令和5）年度

2日〔＊＊〕

地理歴史（世界史）

注 意

1. 監督者の指示があるまでは、問題を見ないこと。
2. 問題は声を出して読まないこと。
3. 問題は17ページ、**①**、**②**、**③**、**④**の4問から成っており、解答すべき箇所は46箇所ある。
4. 問題や解答用紙に落丁、乱丁、汚損あるいは印刷不鮮明の箇所などがあれば、手をあげて監督者に申し出ること。ただし内容に関する質問は受けつけない。
5. 解答は**マーク式**と**記述式**（4箇所）がある。解答は必ず**黒色鉛筆**を使用し、マーク式の場合は解答用紙の所定解答欄の記号に**マーク**すること。
6. 訂正箇所は、消しゴムで**完全に消す**こと。
7. 解答に関係のない符号（？レなど）は記入しないこと。
8. 解答用紙を**折ったり汚したり**しないこと。

1 次の文を読んで以下の設問に答えなさい。

インドでは、前2600年頃にインダス文明がおこった。計画的な都市建設が特徴で、代表的な遺跡としてはパンジャブ地方の ① などが知られる。インダス文明滅亡後、前1500年頃からインド＝ヨーロッパ語系の ② がパンジャブ地方に来住した。彼らは前1000年頃にガンジス川流域に進出し、農耕社会を形成していった。この頃、ヴェーダを中心としたバラモン教やヴァルナ制と呼ばれる身分的上下観念が生まれた。前7～前6世紀頃になると、商業活動が活発となり、各地に都市国家が生まれた。そのなかで、仏教やジャイナ教などの新宗教が生まれ、バラモンの支配に不満を持つ人々によって支持された。

前4世紀になると、インド最初の統一王朝であるマウリヤ朝が成立した。マウリヤ朝は第3代のアショカ王の時代に最盛期となり、南部を除くインドの統一に成功したが、アショカ王の死後に衰退した。紀元後1世紀になると、西北インドを中心としてクシャーナ朝が建てられた。3世紀になると、クシャーナ朝は ③ に圧迫され、衰退した。4世紀に成立したグプタ朝の時代になると、ヒンドゥー教が社会に定着するようになった。また、インド古典文化が完成期をむかえ、天文学や数学なども発達した。グプタ朝は遊牧民の侵入などによって衰退し、6世紀半ばに滅亡した。この頃からヒンドゥー教の神々への絶対的帰依を説く ④ 運動が盛んとなり、インドにおける仏教は衰退にむかった。7世紀になると、ヴァルダナ朝が成立したが、7世紀半ばに崩壊した。以後、インドはイスラーム勢力が進出してくるまでの間、地方政権が分立抗争する時代となった。

一方、南インドでは、ドラヴィダ系の人々による王朝が建設され、紀元前後から ⑤ を使用した文芸活動が盛んとなった。前1世紀、デカン高原を中心として成立した ⑤ はインド洋交易によって栄え、ローマとも交易を行った。

設問1 文中の空欄 ④ にあてはまる語句をカタカナで書きなさい。

設問 2 文中の空欄 ① ～ ⑤ にあてはまる語句を以下の語群から
選びなさい。

〔語群〕

- | | |
|-----------------|-------------------|
| ① (ア) モエンジョ＝ダーロ | (イ) ドーラヴィーラー |
| (ウ) ハラッパー | (エ) パレンバン |
| ② (ア) モン人 | (イ) アッカド人 |
| (ウ) クシャーン人 | (エ) アーリヤ人 |
| ③ (ア) ササン朝 | (イ) セレウコス朝 |
| (ウ) パルティア | (エ) バクトリア |
| ④ (ア) スワヒリ語 | (イ) ウルドゥー語 |
| (ウ) タミル語 | (エ) ヒンディー語 |
| ⑤ (ア) パガン朝 | (イ) サータヴァーハナ朝 |
| (ウ) マタラム朝 | (エ) タウンゲー（トゥンゲー）朝 |

設問 3 下線部(1)に関する記述として、正しいものを以下の中から選びなさい。

- (ア) ヴァルナの第 2 位に位置する戦士階層は、ヴァイシャと呼ばれた。
- (イ) ヴァルナの第 4 位に位置する庶民階層は、シュードラと呼ばれた。
- (ウ) ヴァルナの枠外におかれた被差別民は、不可触民として差別されるようになった。
- (エ) ヴァルナ制と「生まれ」を意味するシャリーアが結びつき、カースト制度が形成されていった。

設問 4 下線部(2)に関する記述として、誤っているものを以下の中から選びなさい。

- (ア) ガウタマ＝シッダータ（尊称はブッダ）を開祖とする。
- (イ) 動物を犠牲に捧げる供儀やヴェーダ祭式を否定した。
- (ウ) 竜樹（ナーガールジュナ）によって大乘仏教が理論化された。
- (エ) 六信五行を実践することで解脱にいたると説いた。

設問 5 下線部(3)に関する記述として、正しいものを以下の中から選びなさい。

- (ア) チャンドラグプタ 2 世の時代に北インドの大部分を統一し、最大領域を実現した。
- (イ) 宮廷詩人のカーリダーサによって戯曲『マハーバータ』がつけられた。
- (ウ) ヘレニズム文化の影響により仏像がつけられるようになり、ガンダーラ地方を中心として仏教美術が発達した。
- (エ) 宗教家のマニがゾロアスター教や仏教、キリスト教を融合したマニ教をおこした。

設問 6 下線部(4)に関連して、この時代にインドを訪れた人物とその旅行記の組み合わせとして、正しいものを以下の中から選びなさい。

- (ア) 玄奘 — 『南海寄帰内法伝』
- (イ) 玄奘 — 『大唐西域記』
- (ウ) 義浄 — 『南海寄帰内法伝』
- (エ) 義浄 — 『大唐西域記』

設問 7 下線部(5)に関連して、以下のイスラーム王朝が成立した順番として、正しいものを以下の中から選びなさい。

- (ア) ゴール朝→奴隸王朝→ガズナ朝
- (イ) ゴール朝→ガズナ朝→奴隸王朝
- (ウ) ガズナ朝→奴隸王朝→ゴール朝
- (エ) ガズナ朝→ゴール朝→奴隸王朝
- (オ) 奴隸王朝→ゴール朝→ガズナ朝
- (カ) 奴隸王朝→ガズナ朝→ゴール朝

2 次の文を読んで以下の設問に答えなさい。

ローマ帝政末期には五本山と呼ばれる教会が重要となり、このうちローマ教会とコンスタンティノーブル教会が有力となった。ローマ教会は首位権を主張し、ローマ司教はイエスの弟子である十二使徒筆頭の ① の後継者を自任して教皇（法王）と称するようになった。5世紀に ② の軍勢からローマを守ったことで知られる教皇レオ1世は教皇権の確立や正統教義の確立をはかり、「大教皇」とも称された。西ローマ帝国滅亡後、ローマ教会は独自の活動を展開するようになり、教皇グレゴリウス1世はゲルマン人への布教に力を入れた。また、6世紀から修道院運動が広がり、各地で修道院が建立されるようになった。⁽¹⁾726年にビザンツ皇帝が聖像禁止令を發布すると、ゲルマン人への布教に聖像を必要としていたローマ教会は反発し、政治上の保護者を求めてフランク王国へ接近をはかった。⁽²⁾800年には教皇レオ3世がフランク王国のカルルにローマ皇帝の帝冠を授け、ここに西ヨーロッパ中世世界が誕生した。カルル大帝の死後、フランク王国は東フランク・西フランク・イタリアに分裂し、イタリアに遠征して教皇を援助した東フランクの ③ は、962年に教皇ヨハネス12世からローマ皇帝の帝冠を授けられた。これは神聖ローマ帝国の起源とされる。

西ヨーロッパ中世世界では、ローマ＝カトリック教会が普遍的な権威を持ち、⁽³⁾学問や芸術をはじめ日常生活のすべてにわたって影響を及ぼした。1054年にはローマ＝カトリック教会とギリシア正教会は相互に破門し、キリスト教世界は完全に分裂した。西ヨーロッパの封建社会において、教会は広い荘園を持つ領主でもあり、世俗権力とのかかわりが深まるにつれ聖職売買などの弊害が生じるようになった。教会改革運動を展開した教皇グレゴリウス7世は、⁽⁴⁾叙任権闘争で神聖ローマ皇帝と争った。

11世紀後半、⁽⁵⁾セルジューク朝がアナトリアに進出すると、これに脅威を感じたビザンツ皇帝は教皇に救援を求めた。教皇ウルバヌス2世は、1095年に ④ で聖地奪回のための十字軍遠征を提唱した。教皇権は、 ⑤ を破門したことで知られる教皇インノケンティウス3世の時代に頂点に達したが、最終的に十字軍が失敗したことや王権の伸張により衰えをみせるようになった。

教皇ボニファティウス 8 世は聖職者への課税に反対してフランス王フィリップ 4 世と争った。その後、フィリップ 4 世は1309年に教皇庁をローマから南フランスの ㉠ に移した。約70年後に教皇庁がローマに戻った後も、フランス側が別の教皇を立てたことで、複数の教皇が並び立つ教会大分裂（大シスマ）となった。教皇権が動揺したことで教会への批判が表面化し、バーメン（ボヘミア）のフスなどは教皇の権威を否定して宗教改革の先駆となったが、フスは教会大分裂を終息させたコンスタンツ公会議で異端とされた。

(6)

設問 1 文中の空欄 ㉠ にあてはまる語句をカタカナで書きなさい。

設問 2 文中の空欄 ㉡ ～ ㉤ にあてはまる語句を以下の語群から選びなさい。

〔語群〕

- | | |
|----------------------|---------------|
| ① (ア) パウロ | (イ) ペテロ (ペトロ) |
| (ウ) ピラト (ピラトゥス) | (エ) キケロ |
| ② (ア) フン人のアッティラ王 | |
| (イ) ササン朝のシャープール 1 世 | |
| (ウ) デーン人のクヌート (カヌート) | |
| (エ) カルタゴのハンニバル | |
| ③ (ア) ウラディミル 1 世 | (イ) カール 4 世 |
| (ウ) ウィリアム 1 世 | (エ) オットー 1 世 |
| ④ (ア) エフェソス | (イ) カルケドン |
| (ウ) クレルモン | (エ) トリエント |
| ⑤ (ア) ジョン王 | (イ) ヘンリ 8 世 |
| (ウ) エドワード 3 世 | (エ) チャールズ 1 世 |

設問3 下線部(1)に関連して、6世紀前半にベネディクトゥスが修道院を建設した地として、正しいものを以下の中から選びなさい。

- (ア) アッシジ
- (イ) モンテ＝カシノ
- (ウ) シトー
- (エ) サンチャゴ＝デ＝コンポステラ

設問4 下線部(2)に関する記述として、誤っているものを以下の中から選びなさい。

- (ア) 全フランク人を統一したクローヴィスは、正統派キリスト教のアタナシウス派に改宗した。
- (イ) 宮宰カール＝マルテルは、トゥール・ポワティエ間の戦いでイスラーム勢力を撃退した。
- (ウ) ピピン（小ピピン）は、ランゴバルド王国から奪ったラヴェンナ地方を教皇に寄進した。
- (エ) カール大帝（シャルルマーニュ）は、東方から侵入したマジャール人を撃退した。

設問5 下線部(3)に関連して、中世ヨーロッパ文化に関する記述として、正しいものを以下の中から選びなさい。

- (ア) 実在論を主張したイギリスのウィリアム＝オブ＝オッカムは、近代合理思想の基礎を築いた。
- (イ) おもな大学には神学・法学・医学の3学部があった。神学研究で有名なオクスフォード大学に倣ってフランスではパリ大学が設立された。
- (ウ) 高い尖塔やステンドグラスを特徴とするケルン大聖堂は、ロマネスク様式の代表的建築とされる。
- (エ) 『ローランの歌』や『ニーベルンゲンの歌』など、口語（俗語）で表現された騎士道物語が生まれた。

設問 6 下線部(4)に関する記述として、正しいものを以下の中から選びなさい。

- (ア) ドイツ国王（のち神聖ローマ皇帝）ハインリヒ 4 世は、教皇の聖職売買を批判し、聖職叙任権を奪おうとした。
- (イ) ドイツの帝国都市では、教皇を支持する教皇党（ゲルフ）と皇帝を支持する皇帝党（ギベリン）が争った。
- (ウ) ドイツ国王（のち神聖ローマ皇帝）ハインリヒ 4 世は、北イタリアのカノッサで教皇グレゴリウス 7 世に謝罪した。
- (エ) 叙任権闘争は、神聖ローマ帝国で皇帝不在の「大空位時代」中に結ばれたヴォルムス協約によって終息した。

設問 7 下線部(5)に関する記述として、正しいものを以下の中から選びなさい。

- (ア) セルジューク朝を建国したトゥグリル＝ベクは、バグダードに入城してアッバース朝カリフからイスラームの宗教指導者を意味するスルタンの称号を授けられた。
- (イ) セルジューク朝の宰相をつとめたラシード＝アッディーンは、軍制や税制を整えたほか、各地に学院（マドラサ）を設立した。
- (ウ) セルジューク朝時代の詩人・科学者であるイラン系のフィルドゥシーは、『四行詩集』（『ルバイヤート』）を著した。
- (エ) アナトリアに進出したセルジューク朝の分派がルーム＝セルジューク朝を建てたことで、アナトリアのトルコ化・イスラーム化が進展した。

設問 8 下線部(6)に関して、コンスタンツ公会議で異端とされた人物とその事績の組み合わせとして、正しいものを以下の中から選びなさい。

- (ア) ウィクリフ — 地動説の提唱
- (イ) ウィクリフ — 聖書の英訳
- (ウ) コペルニクス — 地動説の提唱
- (エ) コペルニクス — 聖書の英訳

3

次の文を読んで以下の設問に答えなさい。

古代より東アジア諸国と日本を往来した人々のなかには、東アジア国際関係や思想・文化に影響を及ぼした人物がいたことが知られている。まずは東アジアの国際関係に影響を及ぼした事例をみてみよう。7世紀中葉に唐から侵攻され、滅亡した百済では、日本に滞在していた王族⁽¹⁾豊璋^{ほうしやう}の帰国と援軍を要請するため鬼室福信^{しつふくしん}を日本へ派遣している。この結果、日本からは援軍を派遣し、唐・新羅軍と日本・百済軍との間で白村江の戦いが起きることになった。

日本が直接戦乱に巻き込まれることはなかったが、日本を往来した人物が国際関係に影響を及ぼした事例は17世紀にも確認できる。①年、明最後の皇帝である崇禎帝が死亡し、清が中国全土へ支配を広げると、明朝の復興を目指す反清勢力が台頭する。このうち平戸を拠点に活動していた④は、反清勢力として、明復興運動を推進していった。彼の息子である鄭成功は、オランダを駆逐して台湾を占拠し、もっとも大きな反清勢力となった。鄭成功の活躍は、日本でも人形浄瑠璃や歌舞伎で語られている。

次に思想・文化に影響を及ぼした人物も確認できる。たとえば752年に東大寺の大仏開眼供養を主導した菩提僊那^{ぼだいせん な}は、南インド出身の僧といわれる。彼は文殊菩薩の靈験を聞いて唐に渡り、736年に⁽²⁾林邑⁽²⁾（チャンパー）僧の仏哲^{ぶつてつ}を伴って来日した。東大寺は、華嚴宗の廬舎那仏^{るしゃな ぶつ}を本尊としており、⁽⁴⁾仏教の伝播と受容を知ることができる。

鎌倉時代には、南宋から臨済僧が訪れ、当時中国仏教の主流となっていた②が日本でも発展していく。幕府の保護を受けた臨済宗は武士と結びつき、日本の文化に影響を与えた。蘭溪道隆^{らんけいどうりゆう}は北条時頼^{ときより}の帰依を受けて建長寺を開き、無学祖元^{むがくそげん}は北条時宗の招きで来日し、円覚寺を開いた。室町時代には、南宋の寺格制度の影響を受け、京都五山・鎌倉五山のように臨済寺院の寺格が制度化され、また五山僧が日本の外交の国書も作成するようになる。ほかにも五山文学が広まり、五山版と呼ばれる書籍も流通するなど日本の中世文化の一端を担うことになった。

近代以降も中国から、多くの思想家・文化人が日本を訪れた。例えば康有為は ③ の教えを新たな制度の創始・改革として解釈した。彼は、 ④ に登用され戊戌の変法を推進した。しかし、西太后が袁世凱に命じて ④ を幽閉するクーデタがおきたため、日本へ亡命した。また、華僑を中心に興中会を結成した孫文も日本を訪れている。彼は東京で中国同盟会を組織し三民主義を掲げ、清打倒の武装蜂起を行った。孫文は臨時大總統となり、共和政の中華民国成立を宣言することになる。

また、朝鮮半島からも、 ⑤ 派を主導した金玉均が日本に亡命した。戦後も大韓民国の政治家が日本で活動を行っており、しばしば日本は東アジア諸国の政治活動の拠点としても機能した。

設問1 文中の空欄 ① にあてはまる人物名を漢字で書きなさい。

設問2 文中の空欄 ② ～ ⑤ にあてはまる語句や数字を以下の語群から選びなさい。

〔語群〕

- | | |
|------------|----------|
| ① (ア) 1624 | (イ) 1636 |
| (ウ) 1644 | (エ) 1652 |
| ② (ア) 浄土宗 | (イ) 禅宗 |
| (ウ) 真言宗 | (エ) 天台宗 |
| ③ (ア) 孟子 | (イ) 老子 |
| (ウ) 莊子 | (エ) 孔子 |
| ④ (ア) 光緒帝 | (イ) 同治帝 |
| (ウ) 道光帝 | (エ) 順治帝 |
| ⑤ (ア) 開化 | (イ) 事大 |
| (ウ) 安徽 | (エ) 東林 |

設問3 下線部(1)に関して、この時期に起きた出来事として、正しいものを以下の中から選びなさい。

- (ア) シリアでウマイヤ朝が成立した。
- (イ) 中部ジャワで、シャイレンドラ朝がボロブドゥールを建立した。
- (ウ) ウイグル（回紇）が唐を助けて安史の乱を鎮圧した。
- (エ) 阿倍仲麻呂が安南節度使など唐の高官に登用された。

設問4 下線部(2)に関する記述として、誤っているものを以下の中から選びなさい。

- (ア) チョーラ朝はローマ帝国との交易で繁栄した。
- (イ) チョーラ朝は灌漑施設の建設によって農業生産を安定させた。
- (ウ) 10世紀から11世紀にかけてチョーラ朝はスリランカに軍事遠征を行った。
- (エ) 10世紀、チョーラ朝では仏教を中心とする建築や彫刻が発達した。

設問5 下線部(3)に関する記述として、正しいものを以下の中から選びなさい。

- (ア) 2世紀末にチャム人によって建国された。
- (イ) 4世紀頃にピュー人によって建国された。
- (ウ) 11世紀に李朝の攻撃を受け滅ぼされた。
- (エ) 13世紀に元軍の攻撃を受け滅ぼされた。

設問 6 下線部(4)に関する記述として、正しいものを以下の中から選びなさい。

- (ア) 4世紀に仏教は鳩摩羅什らによって西域経由で中国に初めて伝えられた。
- (イ) 北魏の時代に活躍した法顕は仏典を求めてインドに留学し『仏国記』を記した。
- (ウ) 前3世紀には上座部仏教がスリランカに伝わり、その後タイへと広まった。
- (エ) 7世紀、港市国家ホータンは仏教の信仰に反対した。

設問 7 下線部(5)に関して、大統領の在任期間中の出来事として、正しいものを以下から選びなさい。

- (ア) 金大中 — 南北首脳会談
- (イ) 朴正熙 — 国連加盟
- (ウ) 全斗煥 — 日韓基本条約
- (エ) 金泳三 — 光州事件

4

次の文を読んで以下の設問に答えなさい。

ヨーロッパ連合（EU）は、1993年に発効した ① により発足した。
 1990年代以降、世界経済における競争の激化の中で、国家の枠組みを越える地域
 (1) 協力のあり方が模索され、ヨーロッパ以外の地域でも様々な地域統合・地域協力が進められたが、とりわけヨーロッパは経済統合に早くから取り組んでいた先進地域である。EU の制度的起源は、1950年のフランス外相 ② の提案を受けて1952年に発足したヨーロッパ石炭鉄鋼共同体（ECSC）であり、1958年には
 (2) ヨーロッパ経済共同体（EEC）とヨーロッパ原子力共同体（EURATOM）が設立された。1967年には、それら3共同体は合併してヨーロッパ共同体（EC）となり、さらに、1970年代以降は加盟国も増え続け、ヨーロッパ統合は順調に進展していった。

このように、ヨーロッパの統合が具体化したのは第二次世界大戦後ではあるが、ヨーロッパを統一すべきとの考え自体はそれ以前からあった。その考えが強くなったのは、第一次世界大戦後である。第一次世界大戦で疲弊した西ヨーロッパ諸国とは対照的に、
 (3) 世界経済をリードする経済大国となったアメリカ合衆国は、
 (4) 1920年代に「永遠の繁栄」を謳歌した。欧米間の力関係の逆転を前に、ヨーロッパ諸国は協力し、ひとつにまとまることの重要性を認識したのであった。
 ③ の『西洋の没落』が広く読まれたのも、従来のヨーロッパ中心主義の考え方が覆されたことを物語っていたといえる。

だが、当時の状況はヨーロッパ統一をすぐに実現できる雰囲気ではなかった。第一次世界大戦後に連合国とドイツの間で結ばれたヴェルサイユ条約において、
 (5) フランスは対独復讐心からドイツの弱体化をはかり、過酷な講和条件を押し付けた。また、
 ④ 右派内閣のもとでは、ドイツの賠償支払い不履行を理由にルール占領が行われ、ドイツの側も不服従運動でそれに対抗するなど、両国の関係は悪化した。確かに、ヴェルサイユ体制のもとでは、集団安全保障の考えにもとづく国際平和維持機構の国際連盟も成立したが、独仏の和解が見込めない状況
 (6) 下において、ヨーロッパ統一の実現は遠い夢のように思われた。

しかし、1924年以降、国際協調の気運が高まり、1925年にはヨーロッパの集団

安全保障のためのロカルノ条約が締結された。さらに、1926年にドイツは国際連盟への加盟を認められ、国際社会への復帰を果たした。1928年には、フランスのブリアン外相とアメリカ合衆国の ⑤ 国務長官の提案で、国際紛争解決の手段として武力に訴えないことを誓った不戦条約も調印された。こうした国際協調ムードに後押しされる形で、1929年、ブリアンは国際連盟総会において、ヨーロッパの連邦的秩序の設立を提案した。ところが、1929年のニューヨーク証券取引所での株価の大暴落が、その後、世界恐慌⁽⁷⁾につながり、ブリアンの構想は立ち消えとなった。世界恐慌の波及により、各国は国内の問題への対応に追われ、経済ナショナリズムが強まったために国際問題への関与に消極的になってしまったからである。こうして、ヨーロッパ統一の政治的実現は、第二次世界大戦後に持ち越されることになった。

設問1 文中の空欄 ① ～ ⑤ にあてはまる語句を以下の語群から選りなさい。

〔語群〕

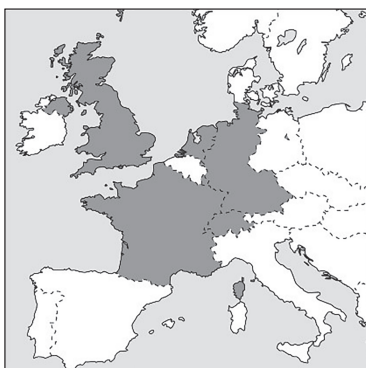
- | | |
|---------------|--------------|
| ① (ア) パリ条約 | (イ) ブリュッセル条約 |
| (ウ) マーストリヒト条約 | (エ) ローマ条約 |
| ② (ア) アデナウアー | (イ) シューマン |
| (ウ) ド＝ゴール | (エ) マーシャル |
| ③ (ア) シュペンクラー | (イ) ニーチェ |
| (ウ) フロイト | (エ) ランケ |
| ④ (ア) クレマンソー | (イ) ブルム |
| (ウ) ポワンカレ | (エ) ロイド＝ジョージ |
| ⑤ (ア) ウィルソン | (イ) ケロッグ |
| (ウ) ハミルトン | (エ) モンロー |

設問2 下線部(1)に関連して、1990年代の出来事として、正しいものを以下の中から選びなさい。

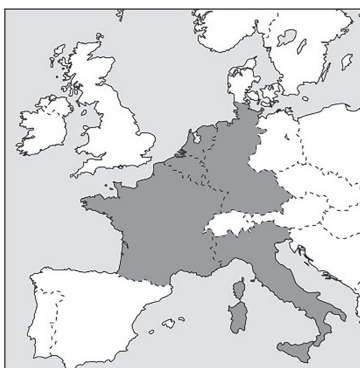
- (ア) アフリカの政治的・経済的統合の実現と紛争解決を目的とするアフリカ連合（AU）が結成された。
- (イ) アメリカ合衆国・カナダ・メキシコ間で北米自由貿易協定（NAFTA）が結ばれた。
- (ウ) 産油国の協力組織として石油輸出国機構（OPEC）が結成された。
- (エ) アジア・太平洋地域の貿易自由化推進を目的とした環太平洋連携協定（TPP）が発効した。

設問3 下線部(2)に関連して、ECSC 発足時の加盟国6カ国を示したヨーロッパ地域の地図として、正しいものを以下の中から選びなさい。

(ア)



(イ)



(ウ)



(エ)



設問 4 下線部(3)に関連して、第一次世界大戦中に起きた出来事として、正しいものを以下の中から選びなさい。

- (ア) 1914年8月初めにドイツが中立国スイスに侵入すると、イギリスは中立国侵犯を理由にドイツに宣戦した。
- (イ) 開戦後まもなくドイツ軍はフランスに侵攻したが、1914年9月のマルヌの戦いで阻止され、以後、西部戦線は膠着した。
- (ウ) イギリスは、サイクス・ピコ協定により、アラブ国家のオスマン帝国からの独立を約束した。
- (エ) 1918年3月にソヴィエト政権は、ドイツとサン＝ステファノ条約を締結して戦線から離脱した。

設問 5 下線部(4)に関連して、1920年代のアメリカ合衆国に関する記述として、正しいものを以下の中から選びなさい。

- (ア) 移民法により、日本を含むアジア系移民の流入は事実上禁止された。
- (イ) ラテンアメリカ諸国に対する高圧的な政策を改め、善隣外交政策がとられた。
- (ウ) 国勢調査の結果、フロンティアの消滅が宣言された。
- (エ) 労働者の団結権と団体交渉権を保障するワグナー法が制定された。

設問 6 下線部(5)の内容として、誤っているものを以下の中から選びなさい。

- (ア) アルザス・ロレーヌのフランスへの返還
- (イ) ポーランドへの領土割譲
- (ウ) ラインラントの非武装化
- (エ) フィウメのイタリアへの併合

設問 7 下線部(6)の本部が置かれた都市の名をカタカナで書きなさい。

設問 8 下線部(7)に関連して、1930年代の記述として、誤っているものを以下の
中から選びなさい。

- (ア) イギリスでは、マクドナルド挙国一致内閣が金本位制の停止を実施した。
- (イ) ドイツが世界恐慌で大打撃を受けたことを考慮して、アメリカ合衆国は賠償と対米戦債の支払いの一年間停止を宣言した。
- (ウ) フランスは、自国の植民地を囲い込んでスターリング＝ブロックを結成した。
- (エ) イタリアのファシスト政権は、世界恐慌による経済的苦境を脱するため、エチオピアに侵攻した。

1

設問 1	①	バクティ				
設問 2	①	ア	イ	ウ	エ	
	②	ア	イ	ウ	エ	
	③	ア	イ	ウ	エ	
	④	ア	イ	ウ	エ	
	⑤	ア	イ	ウ	エ	
設問 3		ア	イ	ウ	エ	
設問 4		ア	イ	ウ	エ	
設問 5		ア	イ	ウ	エ	
設問 6		ア	イ	ウ	エ	
設問 7		ア	イ	ウ	エ	オカ

24点

2

設問 1	①	アヴィニヨン				
設問 2	①	ア	イ	ウ	エ	
	②	ア	イ	ウ	エ	
	③	ア	イ	ウ	エ	
	④	ア	イ	ウ	エ	
	⑤	ア	イ	ウ	エ	
設問 3		ア	イ	ウ	エ	
設問 4		ア	イ	ウ	エ	
設問 5		ア	イ	ウ	エ	
設問 6		ア	イ	ウ	エ	
設問 7		ア	イ	ウ	エ	
設問 8		ア	イ	ウ	エ	

26点

3

設問 1	①	鄭芝竜				
設問 2	①	ア	イ	ウ	エ	
	②	ア	イ	ウ	エ	
	③	ア	イ	ウ	エ	
	④	ア	イ	ウ	エ	
	⑤	ア	イ	ウ	エ	
設問 3		ア	イ	ウ	エ	
設問 4		ア	イ	ウ	エ	
設問 5		ア	イ	ウ	エ	
設問 6		ア	イ	ウ	エ	
設問 7		ア	イ	ウ	エ	

24点

4

設問 1	①	ア	イ	ウ	エ	
	②	ア	イ	ウ	エ	
	③	ア	イ	ウ	エ	
	④	ア	イ	ウ	エ	
	⑤	ア	イ	ウ	エ	
設問 2		ア	イ	ウ	エ	
設問 3		ア	イ	ウ	エ	
設問 4		ア	イ	ウ	エ	
設問 5		ア	イ	ウ	エ	
設問 6		ア	イ	ウ	エ	
設問 7		ジュネーヴ				
設問 8		ア	イ	ウ	エ	

26点